



「暮らしを快適に」と、誇りを持つ 建設業は、やりがいのある仕事

目標は施工管理技士
入社3年目の女性現場代理人

大倉 美保 さん（穂高）

橋の補修工事を行っている現場で、手際よく職人に指示を出している（株堀内組（明科）の大倉さん。7年間務めた介護の仕事から土木女子に転身しました。未知の業界に飛び込んだ大倉さんに、仕事のやりがいや目標を聞きました。

重機への興味から土木の道へ

昔からショベルカーなどの重機に興味があり、触ってみたい、乗ってみたいと思っていました。そんな話を前の職場の同僚に話したところ、たまたま同僚のお父さんが堀内組の従業員で、そのご縁から社長に「つないでもらいました。面接で「土木や重機の知識はありませんが、いろんな人が関わり、いろんなものを作っている建設業にとっても興味があります」と伝えると、社長は「パソコン操作ができるかどうかだけ聞き、「良かったらうちにおいで。一緒に働こう」と、迎え入れてくれました。

現場で感じる 仕事のやりがい

私に任せられた仕事は、橋の補修工事の現場代理人。主な仕事は

施工経過の記録や書類管理、発注者との打ち合わせなどで、重機に乗ることとはありませんが、1つの現場の着工からしゅん工までを管理しています。橋の補修工事は、同じような工事内容であっても現場ごとやることが異なります。断面修復一つにしても工法が異なり、橋の下部など目に見えない部分は着目して見ないとどうなっているかわかりません。そのドキドキ感が楽しく、目を追うことに橋が修復されていく過程に自分が携わっていると思うと、とてもやりがいを感じます。

技術者として、いずれ1人で

今の私は技術的なノウハウがなく、いろんな人に助けてもらいながら仕事をしています。失敗して涙したり、悩んだりすることもありますが、そのたびに「1、2年やそこらでできることじゃない。ゆっくりやればいい」など笑って声を掛けてくれる社長や、言葉は少ないけれど気に掛けてくれる会社の仲間が存在が励みになります。だからこそ、早く一人前の技術者として現場で活躍できるよう、まずは施工管理技士の資格を取り、いずれは1人で現場を切り盛りできるようになりたいです。

建設業は、現場が終わるとそこに新しい構造物ができていきます。そして

工事現場のショベルカーなどの重機を見て、現場で働く人やその仕事に興味を持った。子どもも手がかからなくなったこともあり、自分の好きなことに挑戦したいと建設業に飛び込んだ。



多くの人が、自分たちの手掛けたものを使います。だからこそ、仕事をして得られる達成感や満足感は、他の業種と比べて大きいと感じます。女性が少ない業種ではありますが、私は今、楽しみながら誇りをもって働いています。

MEMO

○施工管理技士

施工技術の指導的技術者として、工事の品質管理などを行う国家資格。

○橋の長寿命化を進める

市が管理する761もの橋のうち、今後20年で建設後50年を超える橋の割合が7割を超える。市では、損傷が大きくなる前に補修などを行い、橋の長寿命化を進めている。

中 学生と地元クリエイターが発信

3月25日 ローカルマガジン「AZUMO」第2号 発表会



市内の10人の中学生と地元クリエイターで組織するコロマガ安曇野（発起人・楢畑彩香）が、地域情報誌「AZUMO」第2号の完成発表会を堀金公民館で行いました。今回のテーマは「安曇野のローカルフード」。昨年8月から企画・取材を行い7か月かけて完成させました。発表会の前には、中学生たちが旬の味ほりがね物産センターで完成した情報誌を来場者に配布しました。カメラマンとイラストレーターを担当した徳竹芽依さん（穂高東中3年）は「地元の方には、親しんだ地元の食べ物の新たな楽しみ方や情報を、市外の方には、安曇野ならではの食べ物や自然豊かな安曇野の様子を感じてもらえたら」と期待を込めました。

「AZUMO」は5,000部発行し、市役所や図書館などに順次配布予定です。

全 国で活躍 安曇野の子どもたち

3月20日 市長表敬訪問

全国大会で活躍された皆さんが太田市長に結果を報告しました。（順不同・敬称略。3月31日時点）



南 農生考案の10品が商品化!

3月15日 開発プロジェクト商品案採用報告会



市と南安曇農業高校が連携して、市の特産品などを使ったオリジナル商品開発に取り組む「安曇野オリジナル商品開発プロジェクト」の商品案採用報告会が市役所で開かれました。この事業は、農業・農村振興などを目的に市と同校が結んだ連携協定に基づくもので、3年目となりました。今回は、3年生14人が考案した商品のうち、セロリを使用したパウンドケーキ、安曇野産トマトと果物のジュレ、信州サーモンのメンチカツなど、過去最多となる10点が採用され、株式会社辰巳（明科中川手）やまちの駅安曇野BASE（豊科南穂高）で商品化されます。

リンゴのレアチーズケーキを開発した村山愛美さんは「リンゴの香りを出すための試行錯誤が大変だったけど、うまく表現できて良かった」と笑顔で話してくれました。

■第31回全国小学生バドミントン選手権大会
都道府県対抗団体戦男子の部 準優勝
渡辺幸叶（豊科南小）

■第14回全日本ジュニアピアノコンクール
廣川和（穂高北小）E課程入賞・連弾初級親子デュオ銅賞、
廣川岳遼（穂高北小）E課程銅賞、高橋佳誠（穂高北小）
連弾初級子供デュオ銅賞、清澤拓真（穂高北小）連弾初級
子供デュオ銅賞、高橋知暉（穂高北小）B課程銅賞・
連弾初級子供デュオ銅賞、清澤颯希（穂高北小）連弾初級
子供デュオ銀賞・銅賞、廣川航輝（穂高北小）連弾初級
子供デュオ銀賞、下里龍聖（穂高南小）D課程入選